

JCHO札幌北辰病院広報誌 ポラリス

# Polaris

[hokushin.jcho.go.jp](http://hokushin.jcho.go.jp)

No.74

2025.11



呼吸器内科のご紹介

JCHO札幌北辰病院の使命と役割



独立行政法人 地域医療機能推進機構  
**JCHO** 札幌北辰病院

# 呼吸器診療を中心に 質の高い医療を提供し 地域医療ネットワークの 形成を目指します



## 部署紹介 No.8 呼吸器内科

呼吸器内科は、肺や気管支、胸膜といった呼吸に関わる臓器の疾患について、診断から治療までを専門的に担当診療科です。

総合病院の呼吸器内科として、入院治療を要する細菌性肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)などの一般的な疾患から、間質性肺炎、肺がん、各種呼吸不全といった高度な専門性が求められる疾患まで、呼吸器疾患全般を幅広く診療しています。

各疾患の急性期から慢性期にわたる幅広い病態に対し、適切な専門医療を最適なタイミングで提供できるよう努めております。治療方針を検討する際は、疾患の重症度、合併症、患者様の全身状態を総合的に評価し、患者様ご自身の意向に十分配慮した最適な治療を共に選択していくことを基本としています。

専門的な診断や入院治療が必要な呼吸器疾患については、まずは当科にご相談ください。

### 以下の症状は当科にご相談ください

呼吸器疾患の早期発見・適切な専門治療のため、当科に是非ご相談ください。

専門的な検査(呼吸機能検査、気管支鏡検査、CT検査など)と治療を一貫して担当いたします。

- ▶ 夜間に咳で目が覚める
- ▶ 季節の変わり目に咳が長引く
- ▶ 咳、痰が1年中続く
- ▶ 喉がゼーゼー、ヒューヒュー鳴って息苦しい(喘鳴)
- ▶ 非喫煙者でも痰が出る
- ▶ 痰に血が混じる、黄色や緑色の痰が出る

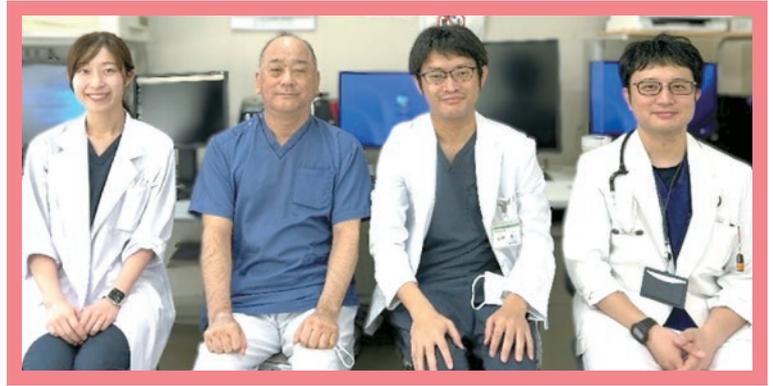
- ▶ 息切れで階段がつらくなる
- ▶ 高熱が続く、なかなか下がらない
- ▶ 胸の痛み



患者総合サポートセンターまで、  
お気軽にご相談・ご紹介ください。

## ■ 呼吸器内科スタッフ紹介

- 診療部長 相坂 治彦  
日本呼吸器内視鏡学会専門医
- 医 長 矢部 勇人  
日本呼吸器学会指導医 / 専門医  
日本アレルギー学会指導医 / 内科専門医  
日本内科学会認定内科医 / 総合内科専門医
- 医 師 村尾 公太郎  
日本内科学会内科専門医  
日本呼吸器学会専門医
- 医 師 槌本 朱里



## ■ 地域医療ネットワークと「新さっぽろ呼吸器勉強会」の取り組み

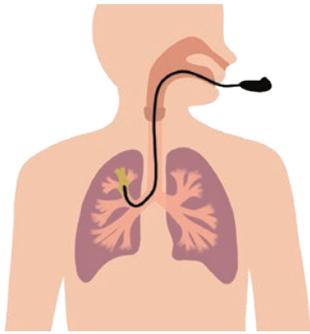
当科は、厚別区・清田区、江別市、北広島市など、近隣地域における呼吸器診療の中心的な役割を担うことを目指し、スタッフ一同日々努力しております。

地域の皆様に安心して受診いただける体制を整えるため、近隣の医療機関との地域医療ネットワークの形成を特に重視しています。

定期的な「新さっぽろ呼吸器勉強会」の開催などを通じて、地域の医療機関の皆様と活発な意見交換を行い、地域全体の医学向上と医療連携の強化に積極的に取り組んでいます。



## ■ 超音波気管支鏡 (EBUS) を用いて、中枢・末梢肺野病変の正診率向上へ



呼吸器内視鏡（気管支鏡）検査は、肺や気管支の病変を直接観察し、正確な診断と治療方針の決定に不可欠な検査です。

気管支鏡は、直径 3～6mm の細く柔軟な管で、気管や中枢気管支の病変観察に使用されます。また、末梢肺野の病変や、縦隔リンパ節、気管支周囲の腫瘍などから、組織・細胞、分泌物（痰）といった検体を採取することが可能です。採取された検体は、病理検査や細菌培養検査に供され、診断確定や治療方針の決定に極めて重要な役割を果たします。

さらに、気管支鏡は、血痰・喀血の治療、喀痰吸引、気管支異物除去、早期肺がん治療など、気管支鏡下治療にも応用されます。

当科では、従来の気管支鏡で観察が困難な病変に対し、超音波気管支鏡（EBUS）を用いた先進的な検査方法を導入しています。特に、ガイドシース併用気管支内超音波断層法（EBUS-GS）や超音波気管支鏡ガイド下針生検（EBUS-TBNA）により、超音波画像を用いて病変を確実に捉え、診断の精度を高めます。

私たちはこれらの手技を通じ、中枢・末梢肺野病変に対する正診率の向上を目指しています。

## ■ 息切れを軽減し、自宅でいきいきと～在宅酸素療法 (HOT) で QOL 向上へ～

HOT とは、慢性閉塞性肺疾患（COPD）や間質性肺炎などにより体内に酸素を十分に取り込めない患者様が、ご自宅で生活しながら不足する酸素を補う治療法です。

体内に酸素が不足した状態が続くと、息苦しさのほかに、全身の臓器、特に心臓に過度な負担がかかります。その結果、呼吸困難・息切れ、むくみなど様々な症状が徐々に現れます。

HOT を導入することで、息苦しさの改善に加えて、臓器への負担を軽減し、病態の進行を防ぐことができます。これにより、家庭生活や職場への復帰が目指せるようになり、生活の質（QOL）を大きく高めることが可能です。

当科では、HOT の導入から継続的なサポートまでを一貫して行っております。患者様の重症度や生活状況に合わせ、酸素流量の設定や機器の選択を慎重に行い、安心してご自宅で治療を続けられるよう、きめ細やかなサポート体制で支援しております。



# JCHO 札幌北辰病院の **使命と役割**

当院の使命は、運営母体である独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）の使命に則って定められています。

当院公式キャラクター  
「ピカ太郎」



## JCHO の使命

- 1 地域医療、地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支えます。
- 2 地域医療の課題の解決・情報発信を通じた全国的な地域医療・介護の向上を図ります。
- 3 地域医療・地域包括ケアの要となる人材を育成し、地域住民への情報発信を強化します。
- 4 独立行政法人として、社会的な説明責任を果たしつつ、透明性が高く、財政的に自立した運営を行います。

## ●JCHO 札幌北辰病院が担う最も大切な使命

JCHO が掲げる使命のなかで、「超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、生活を支える」ことは、当院が最も重視し、実践に努める使命の一つです。

この使命を果たすため、わたしたちは、途切れることのない安心の実現に向けて、「厚別区医療連携ネットワーク協議会」などを通じ、地域全体での医療・介護連携の中心的な役割を担えるよう、日々活動しています。

その活動を通じ、急性期医療と地域の継続ケアの架け橋となり、患者様の退院後の生活までを見据えた切れ目のないケアの提供を目指し、取り組んでいます。



## JCHO 札幌北辰病院が果たすべき3つの役割

当院は地域の皆様に「信頼され、愛される病院」となるため、以下の3つの役割に取り組んでいます。

1. **公的病院の役割：かかりつけ医との信頼のバトンパス**  
厚別区唯一の公的病院として、地域の急性期医療を担うとともに、がんや心臓病などの専門治療を提供しています。この責務を果たすには、地域の「かかりつけ医」との連携が不可欠です。急性期治療が必要な患者様を「ご紹介」いただき、治療後は「逆紹介」することで、急性期医療の体制を継続的に維持することが可能になります。今後も、この「紹介と逆紹介」による信頼のバトンパスを大切に、地域医療の向上に貢献してまいります。
2. **地域医療を支える役割：多職種連携が支える退院後の生活**  
急性期治療だけでなく、患者様の退院後の生活全体を支えるため、入院時から多職種（医師、看護師、MSW など）が連携します。地域の介護施設や訪問看護との橋渡し役となり、退院後の生活までを見据えた途切れることのない安心の提供に尽力してまいります。
3. **地域社会に貢献する役割：未来を担う人材育成と健康増進**  
JCHO の全国ネットワークを活用した人材育成に努め、医学生や看護学生など後進の育成も積極的に行っています。また、毎月「いきいき健康教室」の開催や、地域のイベントへの参加を通じ、住民の皆様の健康意識を高め、健康増進にも貢献してまいります。

# ポラリスNEWS

1

＼地域の皆さまと健康を考える／

## あつべつ健康・福祉フェスタに参加しました

当院は、9月25日(木)に厚別区主催で開催された「あつべつ健康・福祉フェスタ」へ、専門スタッフによる「各種健康チェック&相談ブース」で参加いたしました！

ブースでは、認知症認定看護師による認知機能アドバイスや、理学療法士によるロコモチェックを実施しました。また、感染管理認定看護師からは、これからの感染症流行期に備え、家庭内での感染を防ぐための吐物処理手順などを実演・解説いたしました。

この貴重な機会を通じて、多くの地域住民の皆さまと直接ふれあうことができ、「今の健康状態」や「日頃抱えている不安」についてじっくりとお話を伺えました。当院は今後も、地域に根差した医療機関として、住民の皆さまの健康増進を積極的にサポートする活動に、継続して取り組んでまいります。



sapporo\_hokushinhospital



「もしも」に備える！

家庭内感染を防ぐための実践デモンストレーションの様子



sapporo\_hokushinhospital



当院医師による鑑別疾患や病態メカニズムに関して解説中の様子

2

＼救急隊と医師による／

## 「合同勉強会」を初開催しました

当院は9月25日(木)、地域の厚別救急隊および厚別西救急隊と、合同の勉強会を初めて開催いたしました。

この勉強会では、実際に当院へ搬送された患者さまの症例を取り上げ、救急隊の方々と当院の医師が、それぞれの現場での視点から発表と意見交換を行いました。今回の勉強会を通じて、「一刻も早い、適切な初期治療」を実現するための連携をより深めることができました。

今後もこの勉強会を定期的に行い、日頃からの「顔の見える連携」を大切にしながら、地域の皆さまがより安心できる救急医療体制の向上に努めてまいります。

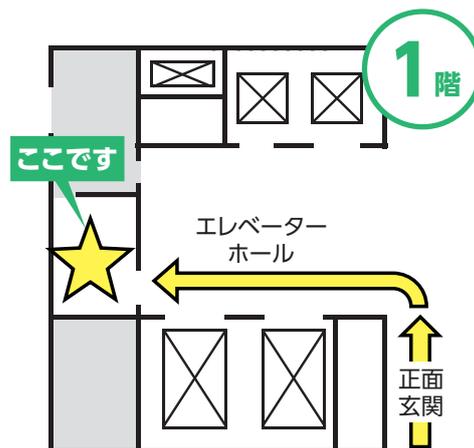
3

＼便利になりました！／

## がん相談支援センターが1階に移転しました

当院は、がんに関する様々な情報提供やご相談に対応する窓口として、「がん相談支援センター」を設置しています。

この度、センターを2階から1階の、よりご利用いただきやすい場所へ移設いたしました。がんの治療に関することはもちろん、生活に関する不安や悩みなど、患者さまにとって有益な情報を提供できるよう、専門のスタッフが話を伺い、丁寧に対応しております。どなたでも無料でご利用いただけますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



# 精密な検査を支える 確かな技術と献身的なケア

特殊診療部 看護師 **きたがわ** さん

病院内の高度な専門検査の介助を担う「特殊診療部」。特殊診療部は、患者様が緊張や不安を抱えて訪れることの多い場所でもあります。

そんな現場で、医師やメディカルスタッフと連携し、専門的な知識と技術で、患者様の安全と安心を支えています。



## Q1 看護師という職に興味をもったきっかけは？

高校生の時、母の入院から看取りまでの間に、看護師さんから幾度となく温かい励ましをいただきました。その経験から、私もいつか「人の役に立てる職に就きたい」と強く思うようになりました。

## Q2 特殊診療部の看護師ならではの、専門的な役割は何ですか？

看護の基本は病棟の看護師と同じですが、私たちは内視鏡室や放射線室など、専門的な機器が揃った環境で働きます。消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、泌尿器科、放射線科など、幅広い診療科の検査（内視鏡、造影検査など）の介助と看護を専門としています。

## Q3 日々業務でのやりがいを教えてください

チーム医療の一体感を感じられることです。医師やメディカルスタッフと密に連携し、検査や治療の成果を共有して実感することができます。また、患者様の苦痛が和らぎ、安心した表情を見せてくれたときも、大きなやりがいにつながります。

## Q4 JCHO札幌北辰病院の好きなところ

福利厚生が充実しており、子育て中の看護師も家庭と両立しやすい環境が整っている点です。そして、通いやすい立地の良さも大きな魅力です。患者様にとっても、働く職員にとっても、非常に魅力的な病院だと感じています。

## 📷 Off shot

子育ても  
楽しく頑張っています！



今すぐ始める

例年よりも早い流行にご注意を!

# インフルエンザ 対策

毎年冬にピークを迎えるインフルエンザですが、今年は例年よりも極めて早い時期から流行が拡大しています。特に札幌市内の小学校では、過去 2 番目に早い時期に学級閉鎖となるなど、感染の広がりには例年にないスピードです。

大切なご自身とご家族の健康を守るため、今すぐ早期の対策を講じることが重要です。

そこで今回は、基本的な予防法と、重症化を防ぐためのワクチン接種についてご紹介します。

## 日常生活でできる!感染予防の6つのポイント

インフルエンザの感染から身を守るためには、複数の対策を組み合わせることが重要です。

日々の生活の中で、下記の6つのポイントを実践しましょう。

### 01 手洗い等の手指衛生



POINT

外出後や食事前は、石けんと流水で15秒以上かけて洗いましょう。洗い残しやすい指先、親指、手首は特に念入りに。アルコール消毒の併用も効果的です。

### 02 咳エチケット



POINT

咳エチケットは飛沫感染を防ぐマナーです。症状がある場合はマスクを着用。マスクがない時は、袖やハンカチで口と鼻を覆い、飛沫の拡散を防ぎます。

### 03 換気・消毒



POINT

暖房使用の冬場でも、1時間に数回窓を開けて換気しましょう。ドアノブやスイッチなど、多くの人に触れる場所は消毒液で定期的に拭き取ることが大切です。

### 04 ワクチン接種



POINT

インフルエンザの重症化を防ぐ最も有効な手段です。抗体ができるまで約2週間かかるため、本格的な流行期を迎える前の早めの接種をご検討ください。

### 05 十分な休養とバランスの取れた食事



POINT

睡眠不足や疲労は免疫力を低下させます。日頃から十分な睡眠を確保し体を休ませましょう。また、バランスの良い食事で免疫力を高めることも大切です。

### 06 適切な湿度(50~60%)を保つ



POINT

空気が乾燥すると粘膜の防御機能が低下します。加湿器などで適切な湿度(50~60%)を保ち、ウイルスの活動を抑えましょう。

### CHECK! ワクチン接種で重症化防止? インフルエンザワクチン接種の目的

流行型に合わせて製造されたワクチンを接種することで、インフルエンザに対する免疫を獲得することが目的です。ワクチンを接種しても発症を完全に防ぐわけではありませんが、感染後の症状を軽くし、肺炎などの合併症による重症化を抑えます。ご自身を守り、大切な方への感染拡大を防ぐことにもつながります。

### インフルエンザワクチン接種のご案内

当院では、2025年11月7日(金)よりインフルエンザワクチン接種を開始いたします。

接種は完全予約制です。

ご希望の方は、当院ホームページをご確認のうえ、お早めにご予約ください。

JCHO札幌北辰病院 予防接種 検索



1 病院 HP 予防接種



1: いきいき健康教室 **完全予約制**

2025年11月27日(木) 14:00～ 当院2F 講義室  
「認知症予防と運動」  
藤本 隆寛 (リハビリテーション部 作業療法士)  
湊 めぐみ (看護部 認知症看護認定看護師)

2025年12月23日(火) 14:00～ 当院2F 講義室  
「眼の病気について」  
森 慶 (眼科 医師)

2026年1月27日(火) 14:00～ 当院2F 講義室  
「オーラルフレイルって知っていますか」 川原 哉絵 (栄養管理室 室長)

2: 市民公開講座 **完全予約制**

2025年12月13日(土) 14:00～ 厚別区民センター1F 視聴覚室  
「その“むせ”、大丈夫？」

誤嚥から命を守り、自分らしい未来を選ぶ

1. 誤嚥性肺炎ってどんな病気? 石橋 幹之介 (総合診療科 医師)
2. 嚥下機能低下を予防する  
お口と喉のリハビリ 早坂 ゆい (リハビリテーション部 言語聴覚士)
3. 安全でおいしく!  
誤嚥リスクを減らす食事の工夫 川原 哉絵 (栄養管理室 室長)
4. 最期の時まで自分らしく!  
「人生会議(ACP)」のススメ 松久 知美 (地域医療連携室 室長)

申込方法

☎ 011-893-3000

(受付時間：平日 9:00～16:00)

たくさんのご参加お待ちしております!!

